



かみさと

議会だより

平成27年3月

No. 66

■発行/上里町議会 ■編集/議会だより編集委員会 〒369-0392 埼玉県児玉郡上里町大字七本木5518番地 TEL.0495-35-1216(直) FAX.33-2429



本郷獅子舞保存会



乾武神流川太鼓



東音頭保存会



東大御堂八十八夜会



三町獅子舞保存会

1月18日(日) ワープ上里において、文化向上を目的として上里町郷土芸能祭が開催されました。



上里町マスコットキャラクター
こむぎっち

もくじ

12月定例会の審議状況	…………… P 2～3
一般質問	…………… P 4～10
委員会のうごき	…………… P 11
議会日誌、編集後記	…………… P 12





12月定例会

12月5日～12日

■ 一般会計補正予算2億5872万9千円を追加

■ 副町長に高野正道氏を再任

12月定例会は、12月5日に開会され、議員7名の一般質問と町長提出議案21件、請願等を審議して12日に閉会しました。定例会で審議された内容をお知らせします。

条例等関係

◎上里町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

○人事院勧告及び埼玉県人事委員会勧告に準じ、改正するものです。
※審議結果 原案可決

◎上里町長及び副町長の給与等に関する条例及び上里町教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例について

○町長、副町長及び教育長の期末手当を改正するものです。
※審議結果 原案可決

◎上里町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について

◎議会議員の期末手当を改正するものです。
※審議結果 原案可決

◎国民健康保険条例の一部を改正する条例について

○健康保険法施行令及び国民健康保険条例の一部改正に伴うものです。
※審議結果 原案可決

◎上里町介護保険法に基づく指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の一部を改正する条例について

○介護保険法の一部改正に伴うものです。
※審議結果 原案可決

◎上里町介護保険法に基づく指定地域密着型介護予防サービス事業の人員、設備及び

運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例の一部を改正する条例について

○介護保険法の一部改正に伴うものです。
※審議結果 原案可決

◎上里町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例について

◎上里町介護保険法に基づく指定地域密着型介護老人福祉施設の指定に係る入所定員等に関する条例の一部を改正する条例について

○介護保険法の一部改正に伴うものです。
※審議結果 原案可決

◎上里町保育の実施に関する条例を廃止する条例について

○児童福祉法の一部改正に伴い、保育の実施に関する条例を廃止するものです。
※審議結果 原案可決

◎子ども・子育て支援法の施行に伴うものです。
※審議結果 原案可決

- ◎上里町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例について
 - 子ども・子育て支援法等の一部改正による児童福祉法の改正に伴うものです。
 - ※審議結果 原案可決
- ◎上里町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例について
 - 子ども・子育て支援法等の一部改正による児童福祉法の改正に伴うものです。
 - ※審議結果 原案可決
- ◎上里町介護保険法に基づく指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に係る基準に関する条例について
 - 介護保険法の一部改正に伴うものです。
 - ※審議結果 原案可決
- ◎上里町地域包括支援センターの職員に係る基準等に関する条例について
 - 介護保険法の一部改正に伴うものです。
 - ※審議結果 原案可決

- ◎児玉郡市及び深谷市における公の施設の相互利用に関する協議について
 - 公の施設の相互利用に関する協議書に「はにほんプラザ」を追加するものです。
 - ※審議結果 原案可決
- ◎専決処分の承認を求めるところについて
 - 平成26年度一般会計補正予算を11月21日付けで専決処分したので、その承認を求めるところです。
 - ※審議結果 承認
- ◎副町長の選任について
 - 副町長である高野正道氏が、平成26年12月17日をもって任期満了となることに伴い、高野氏を再任するものです。高野氏は、平成22年12月に副町長に就任し、2期目となります。
 - ※審議結果 同意
- ◎26年度一般会計補正予算
 - 歳入歳出それぞれ2億5872万9千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ97億3059万1千円とするもの

人事関係

補正予算関係

- ◎この他に、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、水道事業会計、下水道事業会計の補正予算が提出され、原案のとおり可決されました。
- ◎この他に、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、水道事業会計、下水道事業会計の補正予算が提出され、原案のとおり可決されました。

障害者福祉事業	2,293万9千円
国民健康保険特別会計繰出金	349万1千円
予防対策事業	205万3千円
介護保険事業	259万7千円
道路維持補修事業	2,850万円
上里ゴルフ場管理事業	1億7,972万8千円
古新田四ツ谷線整備事業	370万8千円
小学校管理運営事業	267万6千円
小学校教育振興事業	740万9千円
中学校管理運営事業	320万4千円

のです。主な歳出の補正内容は次のとおりです。

請願・陳情関係

決 議

◎児玉工業団地内に計画された産業廃棄物焼却処理施設の設置に関わる手続きの適正処理を求める決議

児玉工業団地周辺は、近年宅地開発による人口が増加する一方、町でも優良な農業地帯であり、露地による野菜栽培が盛んに行われております。

また、近くには、上越新幹線本庄・早稲田駅前の開発も急ピッチで進んでおり、今後人口増加が見込まれます。

これらのことから、産業廃棄物焼却処理施設を設置することは、周辺住民に大きな不安を与えることが想定されます。

同団地では、先に神川町での産業廃棄物焼却処理施設設置に関わる反対運動があり、平成15年4月1日に上里町産業廃棄物処理施設の設置等の紛争予防条例が施行されております。

このことから、周辺環境を守り、同団地や周辺地域のさらなる発展等に寄与するためにも、提出された設置予定計画書に対する対応を適正に処理されるよう、強く求めるものです。

以上、決議します。

一般質問



議席番号 5番 齊藤 崇

問

選挙に対する町民の意識高揚についての対策は

答

有権者の政治意識の向上に向けた取り組みを進めていく

1 選挙に対する町民（有権者）の意識高揚について

（問） 選挙を執行するたびに、投票率が毎回約10ポイント程度低下しているが、

（答） 投票率の向上を実現するために、期日前投票の簡素化、投票所の見直しなど、有権者に投票しやすい環境整備を行なってまいりました。今後は、県意識調査などを参考に、従来にも増して投票しやすい環境の整備や啓発事業に努め、有権者の政治意識向上に取り組みを進めていきたい。特に、若年層の投票率の低さについては、若年層の人たちの選挙に対する関心を高め、より身近に感じてもらわなければならない。その方策として、インターネットの活用が有効と考え

られるので、町のホームページ、フェイスブックなどを利用した取り組みについても検討していきたいと考えております。選挙時よりも今より、常時啓発についても今まで以上に取り組みが求められていると考えております。

2 児童遊園の今後のあり方について

（問） 児童遊園は、昭和40年代に厚生労働省の発案で全国各地に設置、上里町においても神社、お寺の境内等に28か所ありますが、遊具の老朽化が一段と進む中、更に少子化現象が顕著に現れている。今、今後どのように維持管理していくのか。また、アセットマネジメント、つまり町の財産管理の観

点から、財政難を鑑み、早急な決断が急務と考えるが。

（答） 維持管理の内容は、遊具の再塗装など軽微のメンテナンスは、資材は町で購入し、地元区長等にお願

いしているところ。老朽化が進み危険な遊具については、順次撤去を行なっています。遊具の中には、現在の安全基準に適合していない、つまり危険リスクの高い遊具については、撤去していく方向で考えています。また、劣化状況の点検とともに現在の安全基準に適合しているかどうかの確認も行なっていく必要性があります。このことから、町では今年度、町管理の公園遊具について、専門知識を有した業者により、国の指針等の基準に準じた点検を初めて実施したところで

す。現在、点検結果を整理中で結果を精査した上で対応していくとともに、安全第一の観点から定期的な点検を実施していきたいと考えております。



児童遊園

幼児・児童の減少、遊び方の変化などにより、利用

者が少なくなり、アセットマネジメントの観点から考えると更新が必要な遊具なども見受けられるが、利用状況、維持管理、将来性を鑑み、全ての児童遊園の遊具を更新するのは多くの課題があると考えています。

更新期を迎えた児童遊園につきましましては、新規の街区公園の整備状況や周辺施設での代替性を考慮しながら、利用状況や遊具などの状態、地域の皆様のご意見を参考に廃止するか更新するかの判断をしたいと思っております。厳しい財政状況の折り、今後も統廃合を含めて施設のあり方を検討し、必要な施設については集中して整備を行ない、地域の魅力と賑わいづくりに向けた取り組みを推進していきたいと考えています。

一般質問



議席番号 10番 新井 實

問 増える自転車の加害事故について

答 自転車安全利用条例の制定に向け、前向きに検討

1 増える自転車の加害事故について

(問) 増える自転車の加害事故の対応と対策について。

(答) 上里町の自転車事故の状況は、今年10月時点の自転車乗用中の死傷者数は、37名で交通事故全体の死傷者数の約17%となっている。自転車運転マナーという視点を見ても、同時期時点の自転車運転の違反者数が38人であり、昨年の6人と比較しても大幅な増加状況であり、問題視している。以上のことから、10月20日に策定した上里町交通事故防止特別対策大綱においても自転車安全利用意識の啓発を掲げ、現在その対策を急いでいる。また一方で、埼玉県やいくつかの自治体等で自転車

安全利用条例を制定し、施行しているの、議員ご指摘のように、埼玉県警本部交通企画課長からも自転車安全利用条例制定の働きかけがあり、上里町でも担当課に前向きに検討するよう、県内の先進自治体の各条例内容などを研究しています。



通学路(堤地内)

2 自治体の民間委託シフトについて

(問) 自治体窓口の民間委託について。

(答) 民間業務委託に関しては、一部の業務を除き、民間事業者が業務を実施する庁舎内等に町職員が常駐し、不測の事態等に際しては、当該職員みずから臨機適切に対応できる体制を整えることや、当該業務の内容に応じた個人情報保護に対する例規等の改正など特段の配慮が必要であり、さらに法律に基づく町長の判断行為や原簿の管理等は、職員が責任をもって行うことが課せられている。以上のようなことから、窓口業務の民間への外部委託は、業務処理の体制や財

政負担など、近隣市町村の動きを踏まえた上で研究していきたい。

3 遊び感覚で本に親しむことについて

(問) 図書館で広がる「子ども読書通帳」等の利用について。

(答) 年間を通して読んだ本を記録していく上尾市の「読書パスポート」や鴻巣市の「読書預金通帳」の取り組みについては、子どもたちの読書意欲の向上につながるもので、上里町が毎年続けてきた読書マラソンノートや実施方法について、指定管理者と協議し、年間使用できるように改善したいと考えています。

4 糖尿病の重症化予防について

(問) 糖尿病の重症化予防に重点を置き、生活習慣の改善指導を実施し、医療費の伸びを抑えることについて。

(答) 埼玉県では、平成26年度から糖尿病性腎症重症化予防対策事業を実施し、平成28年度には、全市町村の事業実施を目指しております。町としても糖尿病から人工透析への移行を防止することにより、患者やその家族の経済的負担の軽減や医療費の削減が図られますので、事業実施にあたっては医療機関との協力・連携が必要のため、本庄市児玉郡医師会と協議を図りながら、事業実施に向けて取り組んでいきます。

一般質問



議席番号 4番 猪岡 壽

問

人口減少による町民税の減収の取組みについて

答

自治体間や民間との連携を模索しながら、町が実施できる取組みを検討したい

1 26年度以降の上里町の課題について

①人口減少による町民税の減収の取組みについて

(問) 上里町もこれから人口減少傾向にあるが、町として人口の減少を防ぐ具体的な対策があれば、お聞きしたい。

(答) 国が進める地方創生事業の実施と併せて、近隣自治体間の連携、民間との連携も模索しながら、町が実施できる取組みを検討していきたいと考えている。

②企業誘致の取組みについて

(問) 町として企業数を増やし、税収を増加させることが重要な課題だが、企業誘致の取組みについて伺いたい。

(答) 町では、企業誘致の促進を図る目的で、条例に基づき立地企業に優遇処置

を設けている。固定資産税相当額を3年間、法人町民税相当額を1年度分、町民の新規雇用者1人につき、10万円助成等の奨励制度である。

(問) 鶴ヶ島市では、企業の従業員が市内に住宅を取得した場合、1世帯50万円を交付する制度を設けたが。

(答) 町でも個人に補助金が交付できるか研究したい。

③町の成長戦略について

(問) 平成27年度中に(仮称)上里スマートインターチェンジが開通すると、上里ゴルフ場周辺が、上里町の成長戦略の場となる可能性があるが。

(答) 第4次上里町総合振興計画の計画期間が28年度に満了することに伴い、27年度以降、新たな計画

の策定を検討していて、この中でどのような成長戦略を描くかについて、広く意見を求めたい。



アカシア会の彼岸花祭り

④国民健康保険給付費を抑える対策について

(問) 増え続ける健康保険給付費を抑える対策として、町民の健康を促進させることが

重要と思うが。

(答) 町では、特定健康診断を実施し、生活習慣病を予防し、食生活の改善や生活習慣の見直しにより、健康増進に取り組んでいる。また、スポーツ推進委員や各種団体の協力を得て、効果的なウォーキングを周知するための講習会や教室を、忍保パブリック公園などを利用し、定期的に開催できるように検討している。

⑤公共施設アセットマネジメントについて

(問) 人口減少に伴う、税収減は避けられない中で、早期に公共施設の再配置や見直しを行うべきだが。

(答) 町では、平成23年に公共施設見直し検討委員会を設置し、アセットマネジメントを進めている。再配

置や見直しは、利用者である町民との十分な話し合いと理解を得ることが必要であり、基本計画との整合性を図りながら、適宜、取り組んでいきたい。

2 防犯パトロール隊の助成について

(問) 防犯パトロール隊員の傷害保険額を町で全額助成することについて。

(答) 防犯パトロール隊員の皆様には、いつも防犯にご尽力いただき感謝している。傷害保険額を町で全額助成することについては、各地域の防犯パトロールの活動状況を、区長会を通じてアンケートを実施し、実態を把握して見直しが必要か判断する。

一般質問



議席番号 11番 沓澤 幸子

問 子ども・保護者・教職員・住民の要求をくみ上げられる教育委員会に

答 学校や社会教育施設等の訪問を行い、民意を反映出来る活動を考えたい

1 教育委員会改革等について

(問) 教育委員会制度を定める法律が半世紀ぶりに見直され、首長の関与が強まる一方、教育委員会が最高の意思決定機関であることが確認されました。子ども・保護者・教職員・住民の悩みや要求をくみ上げられる教育委員会となるよう、活動保障と処遇改善が必要では。

(答) 町長) 非常勤である教育委員の執務室や机、事務機材等は課題としたい。
(答) 教育長) 教育委員会制度の廃止を含む議論を経て、責任の明確化と政治的中立性、安定性、継続性の両立が図られた。住民に開かれた教育委員

会であるよう努力したい。資質向上に向け、各教育委員の研修の充実、積極的に学校や社会教育施設等の訪問を行い、アンケート実施や意見交換会など民意を反映出来る活動を考えたい。

(問) 多様な民意を反映出来る教育委員の任命と教育委員会の活性化のために、会議日程の公開や時間帯の工夫、議事録の公開が必要では。

(答) 町長) 教育長の事務執行をチェックするという役割も鑑み、適切に人選したい。
(答) 教育長) 会議録を作成し、ホームページ等での公表が努力義務とされま

(問) 住民税非課税世帯の負担軽減策の介護施設利用者の食費・居住費の補足給付が、2015年8月から一定の預

2 高齢者負担軽減策について



中学校の授業

証を行いたい。

貯金があれば打ち切られます。75歳以上の医療保険料軽減特例も段階的に廃止などの高齢者負担増についての見解は。

(答) 要介護認定者969人中、対象者は144人です。国の平成21年全国消費実態調査では、収入200万円未満の世帯で、貯蓄等が2000万円以上の世帯は約8%で、上里町は、国より低いと思います。後期高齢者医療制度の保険料軽減者数は、被保険者2905人中1957人です。特例措置が廃止された場合、被保険者の負担増となるので、軽減措置の特例を継続するよう国・県へ要望したい。

3 小型家電の回収について

(問) 今年度実施の小型家電持ち込み回収と常設ボックス回収の実績と、今後は高齢者のみ世帯など、持ち込み出来ない方の家電回収が課題では。また、「不法投棄の解消に「拡大生産者責任」の制度化が必要では。

(答) 小型家電の持ち込み回収は、2回で36tを回収しました。常設ボックスは、職員が回収時にせん孔機で穴をあけるなどデータ情報の保護に努めています。
持ち込み出来ない方については、検討課題としたい。販売元、メーカーに引き取ってもらうという提案は検討して、県や国に要望したい。

一般質問



議席番号 3番 仲井 静子

問 子どもの通学路のグリーンベルト化について

答 県、本庄警察と相談し、できる道路幅員のあるところを優先し、随時進めていきたい

1 子どもの通学路の安全対策について

(問) 知事は、県が管理する歩道のない小学校の通学路を平成26年～28年度の3年間で道路の路側帯をグリーンベルトに舗装し、車の走る部分と歩行者の歩く場所を際立たせると発表しました。県では本格的に導入を進めています。町道の路側帯もグリーンベルトに舗装し、ドライパーに運転の注意を促し、通学路の安全確保が必要では。

(答) 通学路の安全対策として、グリーンベルトの設置に当たっては路肩のスペースも必要ですので、必要に応じて道路幅員等を踏まえた上で、整備していきたい。また、県・本庄警察と相談し、できる道路幅員

のあるところを優先し、随時進めていきたい。

(問) 通学路の安全確保に向けた取り組みとして、上里町では平成23年度に5カ所の小学校の通学路の安全点検を実施し、検討して取り組んでいます。安全確保は完了しましたか。

(答) 上里町では、市町村で構成する地区通学路安全検討対策委員会において検討し、平成24年度～28年度までを計画期間とし、対策が必要な11カ所のうち5カ所が対策済み、平成28年度までに残りの箇所を済ませ、児童がより安全に登下校できるように、道路環境の整備を鋭意推進していきたい。

(問) 七本木地区は、上里町の人口約1/3を占め、とりせん、ヤオコー、ベルク、薬のアオキと次々にお店が開店し便利になったと同時に当然交通量も増えるため、誘致と同時に町道の整備も行わなければならぬと思うがどうか。

(答) 生活道路の補修については、町が行う補修工事や開発行為などの指導を徹底して、良好な道路環境を維持できるように、対応していきたい。

(問) 防犯パトロールの活動をしている人々との意見交換会を実施していただきたい。

(答) 地域防犯パトロール隊の皆さんがどのような活動をしているか、区長を通じてアンケートを実施してみたい。



通学路 (京塚地内)

2 ごみの減量化について

(問) 日本は、大量生産、大量消費によって大きく発展してきましたが、その一方で廃棄物が増え続け、これらもたらす環境への影響は大きな社会問題となり、地球温暖化へとつながっています。ごみの減量化と環境を守ることは、私たち住民と行政が取り組む

べき課題と思うがどうか。

(答) 町では、行政区や団体単位でゴミの減量化に積極的に取り組んでいただくため、資源ごみ分別収集奨励補助金を交付しています。今後、より一層の家庭系のごみの減量化につながることを考えています。住民周知として、来年度ごみ分別ポスターの刷新を予定しており、ごみ減量化に向けた積極的な啓発に努めていきたい。

(問) 小型家電リサイクル法が施行され、上里町役場でも有益な金属が廃棄されずに回収され、これからも引き続き実施していただきたい。

(答) 小型家電の回収は、町民の皆様から期待も高く成果のある事業なので、引き続き取り組んでいきたい。

一般質問



議席番号 1番 飯塚 賢治

問

ふるさとづくりの推進に ネットワーキングの活用と コーディネータの育成について

答 ネットワークづくりができる人材を育てていければ

1 ふるさとづくりの推進について

(問) いま一度、ふるさとの現状や地域の魅力、歴史など「上里学」として取りまとめ、教材等を作成してはどうか。

(答) 「ふるさと学」の一環として、歴史について啓発を行なっている。上里についての学習機会が、たくさんあるので体系化に向けて検証したい。

(問) ふるさとづくりのコーディネータを育成することについて。

(答) 専門的知識を持っている人を軸にふるさとづくりについて、話し合える場が必要と考える。世代間や官民を超えて、ふるさとづくりの推進に興味を持っていただき、何か始めようといった機運が起きた時に、ネットワークづくりができ

る人材を育てていければと考える。

(問) 交流を目的としたふるさとづくり推進組織との協働について。

(答) まずは、推進組織を立ちあげる必要があるが、推進にあたっては、各自治体の先行事例など情報収集し、町の推進すべき事業の連携について優先していきたい。



田園風景

2 消防団員確保の推進について

(問) 今後、団員確保に困難をきわめる時、団員確保策はあるのか。

(答) 町内及び隣接地域の事業者への働きかけが重要。従業員の入団を積極的に推進したり、特別の休暇制度を設けて、勤務時間中の出勤に便宜を図ったり等、事業所の一層の理解と協力を得て、消防団員の確保に努めたい。

(問) 住民参加型の防災町づくりへ、機能別消防団制度の導入について。

(答) 県内の機能別消防団員の状況は3市町で、機能別分団は、1町のみである。非常勤特別職としての位置づけや報酬、各種手当、制服等の問題がある。近隣市町の状況等を確認しながら、

機能別分団について検討したい。

(問) 消防団員の報酬、出勤手当の引き上げと装備や教育訓練の充実について。

(答) 報酬については、今後、各種非常勤職員手当の見直しと併せて検討していく。安全靴は、全団員に進めている。平成27年度から、デジタル無線受信機の配備を予定。訓練は、分団ごとに毎月2回の通常整備を実施。上里分署と連携して中継送水訓練も行っている。昨年度は、県消防学校の研修を5名の団員が受講している。

3 図書館利用を促進する施策について

(問) ビブリオバトルを図書館で開催することについて。

(答) 静かな読書環境の保持のため、取り入れるには

課題があるので、研究していきたい。今後の予定は、調べ学習コンクールや図書館子どもまつりなどを計画している。

※ビブリオバトルとは 知的書評合戦という意味。自分が読んで面白かった本を人に勧めることで、コミュニケーションを深めるといふ、読書をより楽しむための新しい取り組みです。

4 「放課後子ども総合プラン」の推進について

(問) 今後の取り組みについて。

(答) 高学年の児童クラブへのニーズが高まるため、今後の状況を見ながら、整備について検討したい。

(問) 行動計画の策定状況について。

(答) 国の動向を踏まえながら、生涯学習課・子育て共生課と連携を図り、行動計画を策定していく。

一般質問



議席番号 2番 戸矢 隆光

問

地域の文化は町の財産、後世に継承する手助けするのも町の役割では

答

無形文化財の継承について支援していきたい

1 文化財の伝承について

(問) 上里町には現在7つの無形文化財があり、池上神社に伝わる忍保の神楽、鼓や鐘、笛などの音頭にあわせて樽などに飛び乗ったりする勇壮な舞音頭、長幡地域が発祥の地とされる東音頭、そして金窪神社、丹生神社、七本木神社、三町諏訪神社の各獅子舞が町の指定を受けており、現在活動をしているのは東音頭、金窪・七本木・三町諏訪神社の獅子舞の四つであります。

各神社の獅子舞は、祭礼前の夜間などに練習を重ねて本番に備えているようであり、獅子頭には小学生が入り、笛などの囃子には各神社の氏子たちの人たちなどがあたり、代々引き継がれており文化財の継承や後継者の問題については、心配はしつつも大きな

課題はないように聞いております。

東音頭については、年間を通し町内外の様々な行事に出演をされておりですが、文化財の伝承やそれに伴う後継者の問題は、今後の大きな課題ではないかと考えるところであります。後世に伝えて頂きたいというのが活動をしている大多数の意見であり、今ならば手本になる先生による動作など直接指導して頂くことが出来るのではないかと。一度途切れてしまうと文化財の復活は大変なものではないかと。総合振興計画の中にも、近年指導者の高齢化や文化の多様化により伝承者が減少しつつあり、文化財を大切にしていることを知り、豊かな民情を育む上からも文化財の保護と充実を図るとあります。地域の文化は町の財産、財産を後

世に継承する手助けを行うのも町の役割ではないか。

(答：町長) 現在上里町では、歴史上または芸術上高いものを町の貴重な財産として指定文化財として保存や啓発を行っており、近年、高齢化が進み後継者の育成が大きな課題となっております。

現在、各団体の会長や役員の方々と協議を重ねてパンフレットの作成など様々な啓発を行っており、今後努力をしていきたい。

(答：教育長) 小学校3年生の社会科では、昔から伝わる祭りや行事など、総合的な時間は郷土の文化財や無形文化財について学んでおります。長幡小では3年生の児童が、東音頭の歴史や踊りについて総合的な時間に学習をしており、4年

生の児童は、運動会の折に東音頭を披露しております。

東音頭の継承を充実するには、総合的な学習の時間の内容を見直し、保存会の皆さんと連携を深め踊りだけではなく笛、太鼓、唄などの体験が出来るよう学校を支援し充実をさせると共に、子供たちの東音頭についての理解を深め興味を持てるようにしたい。

生涯学習においては、歴史講座の開催や公民館での東音頭教室の開催を検討していきたい。学校で学んだ児童や興味のある大人が参加でき継続して学べる場を設けていきたい。今後上里町の無形文化財の継承について、教育委員会としても支援していきたい。

(問) 町も積極的に各行事に参加し、代表者や幹部の人た

ちの悩みなどを聞くのもひとつの対策ではないか。

(答) 大人の後継者を作るのが第一であり、町民や町全体の人たちの理解も必要と考える。

(問) 無形文化財を維持する補助金の見直しを考えては。
(答) 検討委員会を開催して意見を聞きたい。



総務経済常任委員会視察研修

総務経済常任委員会は、11月4日、5日の2日間、入間市と神奈川県川島の3市町の視察研修を実施しました。

1日目の入間市は、昨年度「交通事故防止特別対策地域」の指定を受けた所です。人口規模も交通事情も違いますが、今年度、上里町も同じく特別対策地域に指定されたこともあり、特別機関内の取り組み等について学ぶことができました。1日目の午後と2日目の午前の視察は、寒川町と葉山町のゴミの減量対策に向けての資源回収についてでした。



よる資源循環型施設「広域リサイクルセンター」を2013年に建設したとのことです。びん、缶、ペットボトル、プラスチック性の包装容器、布類、金属類、廃食用油、古紙類の8種類を回収し、昨年の資源の売り上げは1億1500万円とのこと。しかし、回収した資源は混入物が多く、施設内で手選別での仕分けをしていました。施設は見学者の資源に対する理解を高めたいとの思いから、資源が運ばれるレーンが見える構造にしたとのことで、実際異物の混入がガラス越しに見えました。

一方、「御用邸のまち」葉山町は、現町長の公約に基づき、横須賀市、三浦市との約10年間のごみ処理広域化協議会を2007年3月に解散し、1町で20年後の2029年の「ゼロ・ウエスト」達成を目指している町です。スタート当時からボランティアを募り、現在20名強の「ごみへらし隊」が活躍中とのこと。新しい計画は、モデル地域で実践したのちに町全体に広げる方法を取り、実施前の住民説明会は回数多くしつかり行っているとのこと。生ゴミの自家処理の取り組みや常設資源回収実施のモデル地区など、色々試みていました。

文教厚生常任委員会視察研修

2014年6月から可燃ごみは全町戸別収集に切り替わっていましたが、これも1地域のモデル実践から地域を広げてきたとのこと。現在のゴミステーションは21品目24種の資源置場になっているとのこと。「どんな実践も2週間経つと落ち着く」「今後は高齢化に向かいゴミの内容が変わると考え準備をしたい」という言葉は先見性と実践の重みを感じました。

2日目の午後は、鎌倉市の「公共施設アセットマネジメント」について研修しました。人口約173000人の鎌倉市は2013年3月に公共施設白書作成。4月には「公共施設再編計画基本方針」を策定しています。市民にも解り易いマンガの説明書も作成し、今年度は市民ワークショップの開催、計画素案のパブリックコメント、シンポジウムを計画し、今年度中に「公共施設再編計画策定」の予定で取り組んでいるとのことでした。鎌倉市の公共施設の97%が20年後には築30年以上になるため、施設を現状維持した場合、40年間で約2000億円の更新等の費用が必要との見込みであり、公共施設を建て替える際に施設の再編を図るなどして990億円の削減を計画していました。

2日間で4か所を訪問する強行軍でしたが、今後に生かせる視察となりました。

文教厚生常任委員会では、11月11日(火)・12日(水)の2日間、岐阜県各務原市と愛知県一宮市への視察研修を実施しました。

1日目は、各務原市における公園緑地の整備管理、市民協働のパークレンジャー制度について研修しました。各務原市は、自然公園も多く公園の整備が進んでいる自治体であります。今回視察させていただいた公園は、住宅街の中にある公園2ヶ所(街区公園、面積約1500㎡)と旧岐阜大学跡地を整備した、市民公園(面積約58000㎡)の合計3ヶ所でありました。

街区公園については、以前からの公園をリニューアルすることに伴い、芝生化したそうであり、特色として、芝生広場を設け、周囲どこからでも公園内に入りやすいようにつくり、外から内を見通せるようになっております。また、健康遊具を設置しており、子どもからお年寄りまで幅広い年齢層に親しめる公園でありました。公園の管理については、行政と地域の自治会が一体となって公園運営を図るため、管理委託の契約を締結して、公園の維持管理をしているとのことでありました。

53園、私立保育園14園、合計67園の保育園があるそうです。一宮市は、平成22年度から園庭の芝生化事業を推進しており、現在まで市立保育園21園が、芝生化を実施済みであります。

芝生化したことによる効果として、従来、園庭で発生していた転倒等によるケガ(擦り傷)が減少したり、強風時における園庭の砂塵飛散防止が図られたそうです。芝生化した園庭を見て、子どもが走って転んでも傷を負うことはないと感じました。また、芝はポット苗を移植し、低コストで芝生化を実現する方式によるものを採用して実施したそうです。

今回の視察研修において、視察先の規模や条件などに相違はありますが、今後の上里町にとっても大変参考になるものでありました。



議会運営委員会視察研修

議会運営委員会では、1月28日、29日の2日間、群馬県みなかみ町、中之条町、長野原町のハッ場ダムの視察研修を実施しました。

28日の午前中は、みなかみ町の議員報酬改定について研修しました。全国136の類似する団体に比べ議員報酬が低く、3万3千人規模に見合った報酬に改定(28%の増額)をしたそうです。要因としては、議員に立候補する意欲が生まれることや報酬がある程度、経済的に自立できる額とすべきとのことでした。平成21年には、過疎地域の指定を受け、議会には産業観光常任委員会のほか、地域振興活性化に関する3つの特別委員会があり、議会の責務も大きなものがあります。

午後は、中之条町の3月議会における総括質疑と議会運営について研修しました。総括質疑については、昭和30年頃より行っており(3月定例会のみ)、質疑と一般質問を合わせた形で行い、質問通告無しでの行政全般にわたる、総括質疑として行っております。執行者側は、質問の予測をすることで緊張感のある議会になるそうです。

翌日は、長野原町のハッ場ダム工事の現地視察を行いました。ハッ場ダムは、吾妻川の中流に建設する多目的ダムで利根川水系の上流ダム群とあいまって、下流部の洪水被害を軽減し、首都圏の水資源として極めて重要な施設であるとのこと。現在、住民の住宅移転、鉄道・道路の移設も済み、

ダムの本体工事が始まっており、ハッ場ダムの早期の完成により、関係住民の生活向上に寄与できることを願っております。今回の研修においては、視察先が近隣であったため、研修時間が多くとれ充実した研修ができました。



議会日誌

12月

- 5日 12月定例会初日 開会、町長の行政報告、一般質問
8日 一般質問
8日 全員協議会
9日 議案審議(条例等、補正予算)
12日 12月定例会最終日(請願等採決)
12日 全員協議会
22日 児玉郡市広域市町村圏組合議会
22日 本庄上里学校給食組合議会

1月

- 1日 元旦歩け走ろう会
9日 こだま青年会議所新年名刺交換会
11日 上里町消防団・署出初め式
11日 上里町成人式
14日 埼玉県・市町村議会議長新年懇談会
14日 埼玉県町村議会議長会役員会
18日 上里町郷土芸能祭
19日 上里町商工会賀詞交歓会
20日 児玉郡町村会賀詞交歓会
23日 議会だより編集委員会
28日 議会運営委員会視察(～29日)

2月

- 1日 上里町スポーツ少年団 生涯スポーツ優良団体表彰受章祝賀会
4日 児玉郡町議会議員後期研修会
10日 埼玉県町村長・議長合同研修会
12日 全員協議会
13日 児玉工業団地工業会賀詞交歓会
13日 議会だより編集委員会
16日 児玉郡市広域市町村圏組合議会
16日 商工会、法人会、青色申告会合同研修会
17日 本庄上里学校給食組合議会
19日 議会運営委員会
26日 埼玉県町村議会議長会定期総会

3月定例会を傍聴しませんか

■手続きは簡単です■

定例会は、3月4日(水)に開会の予定です。なお、一般質問は4日(水)、5日(木)の2日間の予定です。

●お問い合わせは議会事務局へ
電話 35-1216(直通)

6月定例会は、5月下旬に町ホームページ・フェイスブック等に掲載しますので、ご確認ください。

編集後記

草木の芽吹きを日々実感する季節となりました。年明けに行われた、上里町郷土芸能祭には、乾武神流川太鼓、本郷獅子舞保存会、東音頭保存会、三町獅子舞保存会、東大御堂八十八夜会のみなさんによる芸が披露され参加者を魅了しました。激しく舞う獅子舞に若者が加わっていることに安堵された方も多かったのではないのでしょうか。

多くの方々の協力とご苦労があつて継承されてきた貴重な文化が、これからも継承されることを願い、今年度の議会だよりの表紙は、こうした活動を紹介していくことにしました。

3月は、新年度の予算を決める定例会が開催されます。今年度は、生活に直結する介護保険制度の第6期見直しが行われます。ぜひ、議会傍聴にお出かけください。

議会だより編集委員会

Table with 5 columns: 委員長 (戸矢隆光), 副委員長 (飯塚賢治), 委員 (伊藤裕, 杏澤幸子, 新井實, 植井敏夫)

